

授業概要

本講義では、教育法Ⅰにおける中学校社会科及び高等学校公民科に関する理論的・実践的な課題を踏まえて、それらの教科・科目を実践するための社会科教師としての資質を養うことを目的とする。具体的には、前半部では社会科・公民教育をめぐる教材研究、授業づくりの諸問題について講義し、それらを踏まえて自らの社会科・公民教育の授業観をもとに学習指導案を作成していく。後半部では、実際に模擬授業の実践と検討を行っていく。本講義を通して、指導計画と実際の授業との違いについて体感し、修正点を見出す中で、よりよい社会科授業を創り、絶えず授業改善をしていく社会科教師の専門性の一端に触れられればと思う。

授業計画

第 1 回	民主主義社会と公民教育——あなたはなぜ公民教育をするのか？
第 2 回	公民教育とキーワード——「人間の尊厳と平等」「個人の尊重と法」「自由・権利と責任・義務」
第 3 回	生徒の「身近な」話題と教材研究——生徒の問題関心と社会や市民のビジョンの接続
第 4 回	学習指導要領と授業づくり・学習評価①——どんな「資質・能力」を優先するのか？
第 5 回	学習指導要領と授業づくり・学習評価②——「見方・考え方」をどう位置づけるのか？
第 6 回	学習指導案の作成①——目標・評価と単元計画
第 7 回	学習指導案の作成②——授業計画と学習内容・学習方略
第 8 回	学習指導案の作成③——学習指導案作成までのふりかえり①
第 9 回	模擬授業と授業検討会①——中学校社会科公民的分野現代社会・経済・政治単元
第 10 回	模擬授業と授業検討会②——高校公民科公共1「公共の扉」
第 11 回	模擬授業と授業検討会③——高校公民科公共2「法的・政治的・経済的・情報主体と社会形成」
第 12 回	模擬授業と授業検討会④——高校公民科倫理単元
第 13 回	模擬授業と授業検討会⑤——高校公民科政治・経済単元
第 14 回	模擬授業と授業検討会⑥——中学校社会科・高校公民科国際社会単元
第 15 回	授業観の再構成と社会科教師の専門性——指導計画と実際の授業のふりかえり②
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・公民教育に関する理論と実践の検討を踏まえて、自らの授業観を学習指導案に表現することができる。
- ・中学校社会科及び高等学校公民科の趣旨を踏まえて、社会科授業を実践・検討することができる。

履修上の注意

本講義は、中学校社会科及び高等学校公民科に関する教育法Ⅱの講義である。社会科・公民科教育法Ⅰを受けていることが前提となる。

なお、大学の教室外での調査をすることも考慮しておいてください。

予習・復習

基本的には、教材研究や学習指導案の作成など授業の時間以外でもその精度を高めてください。

また、講義の中で紹介する関連文献や論文を読むなど、教育実習に向けて社会科教師としての見識を深めていってください。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・学習指導案：30%
- ・模擬授業・授業検討会における活動とコメントペーパー：30%

テキスト

テキスト：文部科学省（2018）『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』東洋館出版社。
文部科学省（2019）『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 公民編』東京書籍。

参考文献：橋本康弘（2018）『高校社会「公共」の授業を創る』明治図書。

日本公民教育学会（近刊）『新版テキストブック公民教育』第一学習社。

社会認識教育学会（近刊）『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』学術図書出版社。